

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回8月のてがたんは、8月10日(土)で、「手賀沼の生きもの」がテーマです。普段はなかなか見られない手賀沼の淡水魚をじっくり観察する予定です。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、8月3日(土)の9:30からです。よろしくお願いたします。

## 7月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社横の坂を上る→桃山公園→市民農園前水田
- 観察日時と天気：2013年7月13日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：21人(大人11人、こども10人)
- 市民スタッフ：8人(伊東茂子、岡廣志、窪田憲史、小泉伸夫、竹本周平、弘寛さと子、**松村定雄**、水上香苗)
- 鳥博職員： 2人(小田谷嘉弥・村松和行)

## 観察した生き物の記録

### 【鳥類】

カモ科：カルガモ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/メジロ科：メジロ/ヨシキリ科：オオヨシキリ、ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ

### 【両生類】

ニホンアマガエル、ウシガエル

### 【昆虫】

ハエ目：アオメアブ、マダラアシナガギンバエ/ハチ目：クマバチ/チョウ目：ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ヒカゲチョウ、ルリシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、イラガ、オオミノガ(繭の殻)、スズメガの仲間(繭の殻)/トンボ目：コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、チョウトンボ、アオモンイトトンボ/コウチュウ目：マメコガネ、コガネムシ、カナブン、アオドウガネ、トウキョウヒメハンミョウ/バッタ目：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、オオカマキリ、カマキリ、ウスイロササキリ、クサキリ、トノサマバッタ、ヒシバッタ、エンマコオロギ、マダラスズ(声)、キンヒバリ(声)、ヤブキリ(声)/カメムシ目：アブラゼミ抜け殻、ミンミンゼミ抜け殻、ニイニイゼミ(声)、アोकサカメムシ、ナガメ

### 【クモ】

ナガコガネグモ、ジョロウグモ、アシナガグモの仲間、オスクロハエトリ、ゴミグモの仲間、カバキコマチグモ、ヤマトコマチグモ

### 【花】

キク科：ノボロギク、セイヨウタンポポ、ブタナ、ヒメジョオン、ハキダメギク、ノゲシ/クマツヅラ科：コムラサキシキブ/ウコギ科：オオチドメグサ/アカバナ科：メマツヨイグサ、コマツヨイグサ、アカバナユウゲショウ/ブドウ科：ヤブガラシ/ユキノシタ科：アジサイ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/アケビ科：ムベ(実)/スベリヒユ科：ハゼラン/ツユクサ科：ツユクサ/アヤメ科：オオニワゼキショウ/ユリ科：ノカンゾウ/クサスギカズラ科：ジャノヒゲ

# 観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「斜面林～水辺の生き物くらべ」でした。香取神社と桃山公園を歩き、斜面林や手賀沼の環境の変化の話をしました。最後にフジ棚でツバメのくらしの話と採食行動の観察をして解散しました。



今月の案内人  
松村定雄さん



①ウマノスズクサにいたジャコウアゲハの幼虫



②翼の羽を換羽していたハシブトガラス



③バッタの幼虫を捕食していたオオカマキリ



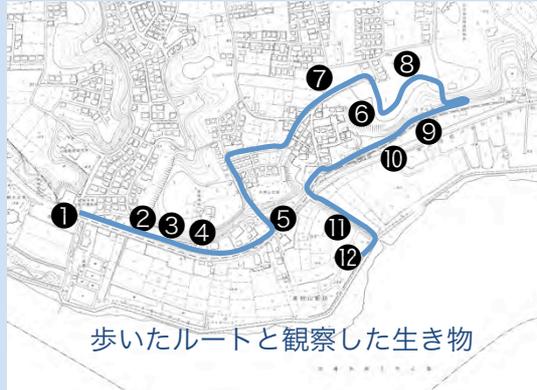
④クズの葉にあったタマバエの仲間の虫こぶ



⑤池で縄張りを守っていたオオシオカラトンボ



⑫草の葉を曲げて巣をつくるコマチグモの仲間



歩いたルートと観察した生き物



⑥アンテナの上でさえずっていたホオジロのオス



⑪水辺の草むらにいたアオモンイトトンボ



⑩ハンノキについていたアオドウガネ



⑨水面に浮かんでいたウシガエル卵



⑧未熟な実をつけていたマユミ



⑦空き地に咲いていたメマツヨイグサ

## 今月の鳥 ツバメ スズメ目ツバメ科

ツバメは、夏になると関東地方にやってきます。人家や駅などの、人間のつくった構造物に巣をつくります。我孫子では、台地の住宅地などで巣が多く、水田で発生した昆虫が主要な餌になっていると考えられています。また、夜のねぐらは沼沿いのアシ原に入ります。ツバメは、我孫子の台地～斜面林～水田～沼といった連続的な環境を幅広く利用して生活しているのです。



親(右上)から給餌を受ける幼鳥